

## 令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

### 佐世保市立金比良小学校



校長：竹川 宏一

児童数：125名 学級数：10学級

所在地：佐世保市金比良町1番5号

#### 学校教育目標

ふるさとに誇りと愛着をもち  
夢や志を育みながら  
たくましく成長する児童生徒の育成

#### 1 目的

本校では、教育目標の具現化に向け、以下のことを中心として特色ある学校づくりに取り組み、「知」「徳」「体」のバランスのとれた子どもの育成をめざす。

- (1) 地域に開かれたコミュニティ・スクール、小中一貫型教育事業
- (2) 学力向上対策事業
- (3) 話せる英語研究事業

#### 2 実践内容

##### (1) 地域に開かれたコミュニティ・スクール、小中一貫型教育事業

###### ① 地域人材を生かした活動

各学年におけるさまざまな活動において、たくさんの地域の方々ゲストティーチャーやボランティアとして参加して下さった。



【1年生 昔遊び】



【2年生 町たんけん】



【3年生 金比良博士になろう】



【5年生 ミシンの使い方】



【茶道クラブ】

## ② 小中一貫型教育事業

小中合同行事や中学校教師による乗り入れ授業、小中合同職員研修会の実施により、小中間の連携による充実した教育活動に取り組んだ。



【合同歓迎遠足】



【合同体育大会】



【合同避難訓練】

## (2) 学力向上対策事業

### ① スキルタイムを生かした基礎学力の定着、児童が主役の授業づくり

週3回のスキルタイム（朝の活動）を生かし、既習事項の復習等に取り組んで、基礎学力の定着を図った。

### ② 学力テストの実施及び結果の分析

全学年1月に、国語・算数の学力テストを実施した。1年間の学習の成果と課題を把握し、課題の重点補充や次年度の指導に生かすようにした。



## (3) 話せる英語研究事業

### ① 中学英語教師、ALT、国際理解指導員による授業

子どもたちが楽しく英語に触れ、興味関心を高め、いきいきと学ぶことができるようにカリキュラムの工夫や小中連携による授業に取り組んだ。5・6年生は中学校の英語教師と協力しながらパフォーマンステストを定期的に行った。

### ② 異文化交流の推進

本校はアメリカ海軍佐世保基地や基地関係者の居住区に隣接しており、徒歩で行き来できる恵まれた立地環境にある。その環境を生かし、佐世保エレメンタリースクールを訪問して、子どもたちが英語を通じたコミュニケーションを体験できる機会を作った。



### ③ 英語4技能検定（GTEC）の実施

6年生は英語4技能検定（GTEC）に取り組み、英語の授業における児童の成果と課題や教師の指導について客観的に評価することができた。



### 3 成果と課題

- 地域学校協働本部の尽力のおかげで、地域の方々に共育サポーターとして様々な教育活動に参加いただき、児童のコミュニケーション能力の高まりや学習意欲の向上、安心安全な教育環境づくりにつながった。

児童の学習に対する満足度が高く、学校評価では9割以上が今年度の取組に満足していると回答した。地域人材を生かした豊かな学びの実現が今後も継続するよう、保護者も含め地域に広く、わかりやすくアナウンスをすることでサポーターの裾野を広げていきたい。
- 「児童が主役の授業」を合言葉に、1年間授業研究・校内研修に取り組んだ。子ども同士の協働による解決を重視した授業を目指した実践の結果、学校評価「授業が楽しく、学習したことが良く理解できている」の項目に対して、97.4%の児童が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した。また、「授業に集中して取り組んでいる」の項目に対しても、94.8%の児童が肯定的に回答し、授業改善の取組が学習理解や学習意欲の向上等の成果につながったといえる。
- 1月に実施した学力検査の結果、児童の成果と課題が明確となった。全校の課題、学年の課題、児童個人の課題をしっかりと把握し、実態をふまえた授業づくりに全教職員が取り組んでいかなければならない。
- エレメンタリー・スクールとの交流については、学期の制度や休業日、学校行事の違いを踏まえ、年度当初におおよその交流計画について打ち合わせ会を行うことで、より充実した活動にしていきたい。